

2023年6月5日

株式会社静岡銀行  
取締役頭取  
八木 稔 様

株式会社ナナホシマネジメン  
代表取締役 松橋 理



## 焼津水産化学工業への天下り再発の疑義及び移行計画に関する株主提案について

弊社は、貴行が（信託口を除いて）第2位の大株主である焼津水産化学工業株式会社（以下「YSK社」といいます。）の2023年6月23日開催の定時株主総会（以下「本総会」といいます。）において株主提案を行いました。本総会においてYSK社のメインバンクである貴行出身の長沢芳裕氏<sup>1</sup>が、独立役員の監査等委員である取締役候補者として上程されるという招集通知の公表を受け、弊社は貴行に本書簡を送付する考えに至りました。

昨今、天下りに注目が集まっています<sup>2</sup>。貴行とYSK社の関係をみると、直近1年間は該当しないものの、2001年6月定時株主総会<sup>3</sup>以降2022年6月定時株主総会まで、貴行の出身者は、YSK社の取締役等<sup>4</sup>に連綿と就任しています。もっとも、弊社は、メインバンクが株主としての立場で取締役を派遣することは、株式保有割合に応じる限り、必ずしも排除するべき考え方ではないと捉えています（独立性の問題については後述します。）。

しかし、貴行のYSK社の株式保有比率が5%程度に過ぎない一方、直近10年間（2013年6月定時株主総会以降2023年5月まで）をみると、貴行出身かつ貴行関係先経由でYSK社の取締役等に就任した人物（以下「貴行出身者」といいます。）の平均人数は1.5名、貴行出身者がYSK社の取締役会<sup>5</sup>に占める割合の平均値は16%と算定されます（次頁図表ご参照。）。

このような状況は、株式保有割合に応じているとはいえ、前述の株主の立場としての取締役派遣の範疇を超えていると解されるため、弊社としては、メインバンクという立場である貴行からのYSK社への天下りを想起せざるを得ません。

貴行は2022年6月定時株主総会において独立役員の取締役の派遣を止めました。天下りの事実関係はさておき、メインバンクや持合い関係先出身である取締役の独立性には疑義が生じるため、弊社は貴行のご判断をコーポレートガバナンスの観点から評価しておりました。しかしながら、冒頭の長沢芳裕氏の経歴を確認し、弊社としてはYSK社への今後の天下りの再発及びコーポレートガバナンスの悪化を強く懸念しています。長沢芳裕氏の取締役としての独立性を厳密に評価し、是非、同氏の選任の決議に対して反対票を投じていただきますようお願い申し上げます。

<sup>1</sup> YSK社の2023年5月31日付「独立役員届出書」において、独立役員に分類される長沢芳裕氏は「2022年6月まで当社のメインバンクである株式会社静岡銀行の業務執行者でした。」と説明されています。なお、YSK社の第64期定時株主総会招集通知では、同氏はメインバンク出身である旨は記載されておらず、貴行出身である旨のみが記載されています。

<sup>2</sup> 例えば、日本銀行等及び日本証券金融株式会社、日本たばこ産業株式会社及び鳥居薬品株式会社、並びに株式会社日本経済新聞社及び株式会社テレビ東京ホールディングスの関係性が、天下りだとして注目を集めたようです。

<sup>3</sup> YSK社のウェブサイトで開示されている最も古い2004年6月開催の定時株主総会から直近の招集通知に基づきます。

<sup>4</sup> YSK社は、2015年6月開催の定時株主総会で監査等委員会設置会社に移行したため、取締役（監査等委員である取締役を除く）、監査等委員である取締役及び監査役を取締役等としています。

<sup>5</sup> 注4のとおり、取締役（監査等委員である取締役を除く）、監査等委員である取締役及び監査役の合計としています。

また、貴行ウェブサイトによれば、貴行は 2030 年度のカーボンニュートラルの目標を設定しており、TCFD に基づく開示（戦略）では「地域企業へのエンゲージメント（ヒアリング活動）の実施」を行い「カーボンニュートラルへの取り組みに関する一斉ヒアリングを実施し（略）7 割の企業が対策に未着手であるとの結果を受け、静岡銀行グループでは、引き続き地域における啓発活動と支援継続していく方針」とのことです。

YSK 社は、2030 年度のカーボンニュートラルを目標としていません。しかし、YSK 社は、弊社のネットゼロ移行計画の策定・実行についての株主提案に反対の意見表明をしています。貴行におかれては、是非、当該株主提案に賛成いただきたいと存じます。また、貴行が推進しているカーボンニュートラルに関する取り組みの一環として、気候変動リスクの開示（株主資本コストの低減）のため、YSK 社に対して大株主として株主価値向上に向けた働きかけをしていただきますようお願い申し上げます。

なお、弊社の株主提案は、上述の移行計画に関するもの以外も上程されます。弊社は、貴行に株主提案について個別にご説明申し上げる用意もございません。ご検討ください。

以上

図表：貴行出身かつ貴行関係先<sup>6</sup>経由で YSK 社の取締役等に就任した人物の一覧<sup>7</sup>

	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	平均	主な経歴
山本和広氏	代社	代社	代社										貴行執行役員→静銀ディーシーカード代表取締役社長 →YSK社監査役、常務取締役並びに代表取締役専務及び社長
山下敦氏					取	取	取	取					貴行支店長→静岡キャピタル取締役常務執行役員 →YSK社執行役員及び取締役
高藤忠治氏		監	監	取	取	取	取	取	取				貴行取締役副会長→静岡不動産代表取締役社長及び会長 →YSK社監査役、監査等委員である取締役及び取締役
(長沢芳裕氏)											監?		貴行取締役→YSK社顧問→監査等委員である取締役候補者
貴行出身者数	(名)	1	2	2	1	2	2	2	2	1	0	-	1.5
役員合計人数	(名)	12	10	10	9	10	9	9	9	8	8	-	9.4
割合	(%)	8	20	20	11	20	22	22	22	13	0	-	16.0
(参考)													
YSK社の「主要な借入先」としての貴行順位	(位)	*	1	1	1	1	1	1	1	1	1	*	-
*借入金がないため、主な借入先の開示なし。													

(補足)

YSK 社における役職は定時総会后現在のものを記載。

代社：代表取締役社長      取：取締役      監：監査役及び監査等委員である取締役

<sup>6</sup> 株式会社しずおかフィナンシャルグループ又は貴行の子会社である静岡キャピタル株式会社及び静銀ディーシーカード株式会社のほか、貴行の出身者と同名の人物が過去から代表取締役に就任している静岡不動産株式会社を貴行関係先と見做しました。

<sup>7</sup> YSK 社ウェブサイトの有価証券報告書及び招集通知より弊社作成。